

玉垂

たまだれ
No.25

大宝殿の緋寒桜（平成21年3月2日）

<http://www.okunijin.jp/>

奉祝

天皇陛下御即位二十年

奉祝

天皇后両陛下御結婚満五十年

春の訪れ

平成二十一年は、畏くも天皇陛下におかれましては御即位二十年の佳節をお迎えになられ、さらに天皇后両陛下におかれましては御結婚満五十年をお迎えになられます。謹んでお慶び申し上げますとともに、皇室のご安泰をご祈念申し上げる次第です。

さて、平成十七年に御鎮座千四百五十年を迎え三期に亘り計画された記念事業ですが、十七年十一月に一期の「舞殿・舞楽舎お屋根替え及び修復」と、十九年十月に二期の「社務所・参集殿増改築」が完成いたしましたことと存じます。社務所も二回目のお正月を経て、氏子崇敬者の皆様に大いにご利用いただき、機能の充実と利便性に努めております。さらに本年は三期の最終事業「斎館並び参拝者休憩所建設工事」を着工いたしました。一月末に地鎮祭を斎行し工事に取り掛かり、電気工事・掘削工事へと順調に進捗しております。斎館とは神事に先だつて神職等の奉仕者が参籠し心身を清める所で、神社において重要な施設です。また、参拝者休憩所はご参拝の皆様にとりまして、神社の杜の中でゆったりとした時間が過ごせる憩いの空間になるところです。四季の潤いを感じつつ、更に敬神の念を深くして戴ければと存じます。この事業は十一月中旬の竣工を目標に進めておりますが、ご参拝の折には是非工事の様子などご覧戴ければと存じます。工事期間中の境内は大型車輛などが出入りし落ち着かない状況となりますが、ご理解を戴きますようお願いいたします。

崇敬奉賛会を発足し募財活動を始めて以来、氏子崇敬者の皆様方には心温まるご奉賛を賜っておりますこと重ねて厚く御礼申し上げます。今後も引き続き変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。いよいよ四月は御例祭となり、当社にとりまして最も祭典行事が多い時期であり、また同時に花の季節でもあります。皆様方には社頭に額ずき大神様の広大無辺な御神徳を戴き、日々の御平安をお祈り戴けたいと存じます。



正月の拝殿前（1月3日）



八王子社例祭の齋行（1月17日）



御弓始祭の大的式（1月17日）



「丑」歳（作・鈴木格子氏）



授与所の縁起物



師走の大祓式（12月31日）

「師走の大祓式」齋行

十二月三十一日の大晦日に師走の大祓式を齋行いたしました。当日は多くのご参列者また身代わりとなる人形が祓い清められ、清く正しい身に立ち返りました。

大祓式は年二回行われ、日常生活において知らず知らずのうちに心や体についた罪やけがれを、人形に託し川に流して祓い清める日本古来の伝統神事です。

来る六月三十日には境内に設けられる「茅の輪」をくぐる、夏越の大祓式が齋行されます。

当日ご参列いただければ、お祓いをご一緒にお受けいただけますので、是非ともご参列いただきますようご案内申し上げます。

田遊び神事

正月三日午後一時より、旧社家の皆様のご奉仕により舞殿にて国選択の記録すべき無形民俗文化財である「田遊び神事」が行われました。年の始めにその年の豊作を祈願する神事で、田植えから刈り入れまでの稲作過程を一番の素歌から十二番の歌おろしまでの十二段の演目によって模擬的に演じます。

田遊びは全国各地行われ、特に静岡県は有数の伝承地であります。中でも当社の田遊びは、はなやかな衣装や舞などはなく、田に見立てた太鼓を中心に詞章（田唄）に合わせて所作を行うのが特徴です。神事の最後には、神札の授与・投げ餅が行われました。



田遊び神事（1月3日）



松井晴山氏奉納の三倉石（2月17日）



大沼攸子氏・池田鬼神丸国重（刀剣）の奉納（2月11日）

節分祭の齋行

二月三日（火）午後二時より節分祭を齋行いたしました。本年は、浜松市出身で俳優の笈利夫さん、また女子レスリング世界選手権金メダリストの坂本日登美選手をお招きし、年男年女役としてご奉仕いただきました。

当日は天候にも恵まれ、大紋を身にまとわれたお二人は、殿内にて約一〇〇名の年役の方々と共に追儺神事や豆撒き神事に続き、年男役・年女役の弥栄を祈願する宝槌打振神事、大声で笑い厄災を祓う福笑い神事をご奉仕いただきました。

また神事後の舞殿及び特設舞台での豆撒きでは、お二人の姿を一目見よう集まった方々や福を求める多くの参拝



節分祭特別奉仕の笈利夫さんと坂本日登美さん



節分祭ご奉仕の方々

者で賑わい、本年の節分祭は、無事滞りなく齋行されました。特別にご奉仕いただきましたお二人の更なるご活躍をご期待いたします。



大宝殿の河津さくら (2月28日)

祈年祭の斎行

二月十八日午前十時より祈年祭が斎行されました。本年も厳しい寒さの中ではありましたが晴天に恵まれ森町議会議長の渡邊輝良様・崇敬奉賛会理事の小栗啓様を始め約七十名のご参列を賜りました。

祈年祭は、新しい年の五穀豊穰・国家の安泰を祈願するお祭りです。十一月に行われる新嘗祭とともに重んじられています。



「斎館並び参拝者休憩所」建設工事の地鎮祭 (1月30日)

「斎館並び参拝者休憩所」 建設工事の地鎮祭斎行

平成十七年より三期に亘り実施してまいりました御鎮座一四五〇年記念事業も多くの皆様に賜りました篤志によりまして、本年は無事に最終事業開始の運びとなりました。

当初の計画通り、旧社務所跡地に「斎館並び参拝者休憩所」を建設いたしますが、着工にあたり去る一月三十日に地鎮祭を斎行いたしました。関係者参列のもと、無事竣工を祈願いたしました。完成は、本年秋の新嘗祭頃を予定しております。今後ともご理解ご協力ほどよろしくお願いいたします。



どんど焼きの実施 (1月18日)



御鎮座千四百五拾年記念事業

御奉賛者御芳名 (十)

(順不同・敬称略平成十七年一月一日〜平成二十一年二月二十八日迄)
※記載額は奉賛金の総額となります

一宮・橘地区

貳拾萬圓以上

中村 哲

参萬圓以上

井指 啓子
相羽 勝

壹萬圓以上

森田 富雄
菅沼 正子
高橋 春雄
久保 雅嗣
岡田 浩次
天野 勝弘
花島 君雄
高木 行信
村松 政雄

天野 雅章
向島 章雄

藤原 則子

伊藤 千賀

匿 名

園田地区

壹拾萬圓以上

匿 名

飯田 弘一

(有)スタジオ・テイク

鈴木 一二

(株)丸偉

小倉 豊寿

袴田 恵大

貳拾萬圓以上

高塚印刷所

壹拾萬圓以上

飯田 弘一

匿 名

壹萬圓以上

匿 名

本多 貴子

本多 将悟

本多 真

小谷 晃資

高宮 朝昭

平井 克宗

紀元祭の齋行

二月十一日は神武天皇が御即位され日本を治められたとともに、我が国が建国した「建国記念の日」にあたります。当社では、午前八時三十分より奉祝パレードが実施され、子供会を中心に総勢三五〇名程が参加いたしました。当日は天候にも恵まれ、国旗や手旗を振りながら神社に向かって元気よく行進いたしました。

また、神社の拝殿では紀元祭が齋行され森町長村松藤雄様を始め、森町議会議長長渡邊輝良様・静岡県議会議員奥之山隆様のご参列を賜り、無事滞りなく齋行いたしました。祭典後には拝殿前にて奉祝式典が行われ、ご来賓の皆様よりご祝辞を賜りました。

また境内では、氏子青年会の奉仕による恒例の餅つきやビンゴゲームが催され、参加者やご参拝の皆様にも黄粉餅や甘酒が振る舞われるなど、境内は大変賑わい楽しいひとときを過ごして建国の日をお祝いいたしました。



紀元祭・奉祝パレード (2月11日)



奉祝の餅つき (2月11日)



紀元祭・奉祝式典 (2月11日)

ふるさと文化再興事業による 舞楽「傘及び装束」の新調

重要無形民俗文化財に指定されています当社の舞楽は、保存会並び賛助会の皆様のご協力により常々保存・伝承に努めています。後継者につきましては師匠会により育成されており、諸道具についても慎重に管理をしております。

しかしながら、長年の使用により傷む物もあり、また安易に替えられる物ばかりではないため、この度財団法人伝統文化活性化国民協会の委嘱を得、「ふるさと文化再興事業」により「行道用の傘」と「楽人の装束」を新調いたしました。四月の例祭に伴う神幸祭並び舞楽奉奏の際にご覧いただけます。



行道用の傘 (内部) (マルト藤沢商店謹製)



行道用の傘 (15本)



指南役楽人の袴及び羽織 (井筒装束店謹製)

まつり歳時記

三月〜六月

三月

弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十七日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十七日 鉾執社例祭 (午後一時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十日 春季皇霊祭遙拝式 (午前八時)
- 二十日 初甲子祭 (午前九時)

四月

卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 神武天皇祭遙拝式 (午前九時)
- 四日 勸学祭 (午前十一時)
- 五日 一宮さくら祭 (午前十時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 八日 杉祭 (午前九時)
- 八日 全国一宮等合殿社例祭 (午前九時半)
- 十日 天皇皇后両陛下御結婚満五十年奉祝祭 (午前九時)
- 十六日 垢離祭 (午前十一時)
- 十六日 舞揃 (午後二時)
- 十七日 献詠祭 (午前九時)
- 十七日 前日祭 (午前十時)
- 十八日 例祭 (午前十時)
- 十八日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 十九日 氏子入り奉告祭 (午前十時)
- 十九日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)
- 十九日 神幸祭 (午後二時)
- 十九日 献茶祭(手揉み保存会) (午後四時)
- 二十四日 献茶祭 (午前十時)
- 二十九日 昭和祭 (午前九時)

五月

皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十九日 甲子祭 (午前九時)

六月

水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 六日 花菖蒲観賞祭 (午前十時半)
- 七日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十二日 御田植祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



境内の新緑 (平成20年)

平成二十一年例祭

本年の例祭は、四月十八日・十九日の二日間に亘り斎行されます。最も神社に由緒ある日に行う大祭で、例祭(十八日)を始め十二段舞楽【国指定重要無形民俗文化財】(十八・十九日)神幸祭・巫女舞【森町指定無形文化財】・稚児行列・勅使行列(十九日)などが行われます。二日目の舞楽終了後には、振興行事として福引入りの餅まきが行われます。

また前日祭・献茶祭・献詠祭・氏子入り奉告祭など例祭に伴う諸祭典が斎行されます。境内では、新茶の手揉み実演や露店の出店など境内は賑わいます。



舞楽行列 (平成20年4月19日)

古代の森シリーズ 25

一 筥

筥は特殊神事に用いられる疫鬼を祓う神具で長さ三十センチメートルほどの柳の枝を使います。柳は葉の形状から「矢の木」とも称され、また根付きのよい性質から旺盛な生命力をもつ木として信仰の対象とされます。

当社では一月三日の追儺祭、二月三日の節分祭に用いられ、太鼓・鉦鼓・鈴の音に合わせて拝殿のナゲシを打ちます。

節分祭の筥には、春のことぶれとして梅を加え、柳と梅の枝二本を麻紐で結んだものを使用します。



追儺神事 (2月3日 節分祭)

「一宮さくら祭」の開催

四月五日(日) 午前十時より恒例の「一宮さくら祭」を開催します。拝殿前の舞殿にて琴・尺八演奏、境内では野点や甘酒がふるまわれます。メイン会場となる門前の特設ステージではバンド演奏やダンスなどの公演が楽しめます。みただけです。

午後三時二十分頃には投げ餅の実施、また夜間は夜九時まで門前周辺をライトアップしますので皆様お誘い合わせの上お出かけ下さい。



境内の桜 (平成20年)

勸学祭・氏子入り奉告祭のご案内

当社では毎年、勸学祭並びに氏子入り奉告祭を斎行いたします。勸学祭は、氏子地区内で小学校・中学校に入学者のお子様にご参列いただき、大前に学業成就、身体健全をご祈願申し上げます。氏子入り奉告祭は平成二十年四月一日より平成二十一年三月三十一日までにお生まれになられたお子様及び嫁入り、婿入り、転入居住された方をご案内し、ご神前にて当社の氏子に変わったことをご奉告申し上げると共に、家内安全、無病息災をご祈願申し上げます。

本年は勸学祭を四月四日(土) 午前十一時より、氏子入り奉告祭を四月十九日(日) 午前十時より斎行いたしますので、ご家族の皆様お揃いでご参列いただきますようお願い申し上げます。



境内のシャガ (平成20年4月16日)

命名

平成二十年十二月一日
平成二十二年一月三十一日

友田 光莉 森 町
鈴木 寅太郎 森 町
中村 紀那 浜松市
小池 結空 森 町
松岡 希空 磐田市
鈴木 仲弥 磐田市
鈴木 大翔 磐田市
押入 保奏心 磐田市
藤田 一希 森 町
桑原 康成 浜松市
勝又 綾音 磐田市
畑中 碧月 磐田市
村松 篤季 森 町

宮地 悠翔 磐田市
直井 絃貴 浜松市
平松 龍樹 浜松市
遠藤 菜里香 掛川市
永井 しずく 磐田市
金原 拓海 磐田市
後藤 桜空 大阪府
鈴木 結翔 袋井市
高田 萌花 袋井市
堀 真登 菊川市
村松 楓華 森 町
山本 真優 浜松市
堀口 浩希 浜松市

鈴木 莉央 森 町
岩本 船 浜松市
秋山 大河 浜松市
白幡 穂采 磐田市
青田 悠希 磐田市
内村 理人 浜松市
宇佐美 志太 磐田市
○当社では、お子様の命名を申し受けております。
―訂正―
社報「玉垂」二十四号(平成二十年十二月二十日発行)の紙面に誤りがありましたので、訂正の上お詫び申し上げます。
誤 四ページ命名 河原崎真凜
正 河原崎真凜

稚児行列奉仕者の募集

四月十九日(日) 午後二時より神幸祭(おわたり)を斎行し、稚児行列を執り行います。つきましては、本年も行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 ○五三八一八九七三〇二
振興会 稚児行列係

- 募集要項
- 一、対象者 小学校三年生位までの男女
 - 一、参加費 五,〇〇〇円
 - 一、募集人員 先着二十名
 - 一、申込締切 四月三日(金)



稚児行列奉仕者

献詠祭の和歌募集

当社では、献詠祭で神前に奉納する和歌を募集しています。左記の要項にて多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。

- ◇兼題 「御即位二十年」・「希望」
- ◇用紙 短冊
(歌は楷書にてお書き下さい。
裏面に住所・氏名を明記下さい。)
- ◇献詠費 無料
- ◇締切 四月十一日(土)
- ◇宛先 千四三七〇二二六
静岡県周智郡森町一宮
三九五六一
小國神社社務所
祭儀課献詠係



巫女舞奉仕者



舞殿横の沈丁花 (3月3日)



柳沢伯夫衆議院議員新春参拝 (1月4日)



女子プロゴルフ・二井靖子選手ご結婚 (12月13日)



「小國こまち開運だんご」発売 (3月1日より)



天竜浜名湖鉄道・遠江一宮駅の駅名板を寄贈 (11月22日)

平成二十一年三月十五日
 「玉垂」(たまだれ) 第二十五号
 題字揮毫 神社本廳前総長 工藤 伊豆
 発行 小國神社社務所
 郵便番号 四三七一〇二二六
 住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
 電話番号 〇五三八(八九) 七三二〇二
 FAX 〇五三八(八九) 七三二六七
 印刷 (有)デザインオフィス エム・エス・シー

平成二十一年三月二日(月)午後二時に大宝殿にある緋寒桜を撮影いたしました。開花の状態が例年よりも十日程早く感じられます。今後は染井吉野・三春桜等が境内にてお楽しみいただけます。

表紙写真について

○「玉垂」二十五号をお届けいたします。暮から二月末迄の祭事等をご報告させて頂きました。年明けから好天に恵まれ、穏やかなお正月になりましたことは、ご神慮の賜物と存じます。
 ○節分祭には地元出身で二回目奉仕の箕利夫さんと長年女子スリング界にて活躍の坂本日登美さんに特別年役のご奉仕を戴きました。斎行後には直会会場にて、当社の御神酒(どぶろく)をご賞味され、ご奉仕の皆様方と和やかな一時を過ごされました。

編集後記



拝殿前の五葉つつじ (平成20年)